

令和元年度 第1回 丹南地区地域・職域連携推進協議会 開催報告



今年度は、がん検診受診率アップに取り組んでいきます！

開催概要

月 日：令和元年7月11日（木）

場 所：丹南健康福祉センター

出席者：委員26名（20機関）

医師会、全国健康保険協会福井支部、労働基準監督署、福井産業保健
総合支援センター、労働基準協会、商工会議所、商工会、
（公財）福井県健康管理協会、（公財）福井県予防医学協会、市町



主な内容

1. 「地域・職域連携事業の活性化ツールを活用した支援モデル事業」について
厚生労働科学研究班 代表研究者 荒木田 美香子氏（国際医療福祉大学）より、地域・職域連携推進
事業の展開と課題、効果的に進めるためのポイントを説明頂きました。
2. 丹南管内における地域・職域連携事業の目標設定について
今年度は、「がん検診受診率アップ」を目標に取り組むことに決まりました。
3. ブレイン・ライティングによる意見まとめ

助言者：国際医療福祉大学 教授 荒木田 美香子氏
名古屋工業大学大学院 教授 横山 淳一氏

「がん検診受診率アップ」の具体的方策について、各委員から意見を頂きました。

【関係機関が取り組めるがん対策について（ブレイン・ライティングより抜粋）】

（事業所）

- ・職場の健診とがん検診の同時実施
- ・がん検診を家族も受けられるようにする
- ・勤務時間中（特別休暇）に受けられるようにする
- ・事業所ごとの受診率を競わせる仕組み
- ・受診を人事評価に反映させる

（商工会・商工会議所）

- ・広報誌等で周知

（協会けんぽ）

- ・協会けんぽと協力したがん検診の検討

（市町）

- ・受診しやすい時間・場所の設定
- ・日程の周知・PR
- ・特定健診とがん検診の同時実施
- ・健康推進員による声かけ
- ・地域のイベントに合わせた検診の実施
- ・未受診者に電話での受診勧奨
- ・受診率が低い理由を調査

（かかりつけ医）

- ・かかりつけ医からの受診勧奨

（その他）

- ・各機関のホームページ、SNSで周知
- ・がん検診受診キャンペーン
- ・友達・家族と受診するキャンペーン
- ・マスコミ、有名人を活用して周知・PR
- ・講演会や研修会でがん検診を周知

4. 今後の取組みについて

がん検診受診率アップに向けて、各機関で取り組める内容を事務局で整理し、各機関で取り組みます。
第2回協議会を、今年12月～来年1月頃開催し、進捗状況等について報告します。

がん検診を受けるメリット

がん検診を受けることで、様々なメリットがあります。
地域・職域が連携して、がん検診の輪を広げていきましょう！

（事業所）

- ・休業期間が短くすみ、
生産効率が下がらずすむ

（本人）

- ・早期発見・早期治療ができる
- ・身体的・経済的負担が少なくすむ
- ・休業期間が少ない分、給与が減ら
ずにすむ

（加入する医療保険者）

- ・医療費や保険料が安く抑
えられる

（市役所・町役場）

- ・住民の健康保持ができる
- ・がんで亡くなる方が減る

厚生労働科学研究班「地域・職域連携事業の活性化ツールを活用した支援モデル事業の効果の検討」に
今年度、当センターも参画しています。